



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590 / CHARTERED MAY 29, 1976 / WEEKLY BULLETIN



クラブテーマ 更なる奉仕を地域と共に

2008-2009年度 **第41号週報 No.1600**

2009年(平成21年)5月15日 第1600回例会記録 5月22日発行

2008-2009年度RI会長

李 東建



夢をかたちに

2008-2009年度 清水 良夫
第2590地区ガバナー

会 長	犬飼 和春	会長エレクト	河野 明光
副 会 長	横山 範夫	副 会 長	梅崎 興生
幹 事	古川陽 太郎	副 幹 事	山田 正憲
会 計	館野 典久	副 会 計	朝日 達夫
S A A	布施 是清	副 S A A	飯田 泰之
クラブ会報	角田 伯雄	副 S A A	月山 勇(PP)

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3 TEL:045(314)3900 FAX:045(314)3555

例会日 毎週金曜日0:30~1:30PM(第5金曜日18:00PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/> **E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

司 会 古川 陽太郎 幹事

点 鐘 犬飼 和春 会長

斉 唱 我等の生業

四つのテスト 川邊 正男 職業奉仕委員長 (第1例会のみ)

ゲスト紹介

岩田 忠利 様 (ゲストスピーカー)

ビジター紹介

名古屋和合 R.C 渡辺 信頼 君
 神奈川 R.C 樋口 明 君
 神奈川 R.C 春原正三郎 君
 葉山 R.C 山口健次郎 君

誕生日祝

川邊 正男 会員 (5月20日)



本日《5月24日》のプログラム

移動例会『春の家族会』

入会記念日祝

犬飼 和春 会員 (第6期 1982年5月15日入会)

渡邊 淳 会員 (第22期 1998年5月17日入会)



会長報告

5月度定例理事会報告

幹事報告

明日、2009-10年度インターアクト役員研修会がございます。当クラブからは山田正憲副幹事、長井章次年度新世代育成委員長、わたくし古川が出席致します。

次週5月22日は5月24日の『春の家族会』に移動例会となります。次々週5月29日は当初は夜間例会の予定でしたが、通常例会に変更になっております。お間違えないようお願い致します。

出席報告

上阪 哲也 委員長

会員総数	65名	(52+13)名	
出席会員数	49名	(39+10)名	
出席率	79.03%		
ゲスト	1名	ビジター	4名
前回補正後	85%	前々回補正後	93.22%

スマイルボックス

布施 是清 SAA

樋口 明君 お世話になります。よろしくお願い致します。

春原正三郎君 久しぶりのメーキャップです。

川邊正男君 誕生日祝いありがとうございました。

渡邊 淳君 入会記念日祝いをありがとうございます。末長いお付き合いをよろしくお願いします。

犬飼和春君 入会祝いありがとうございます。早いもので27年になります。卓話をしていただき岩田様本日はよろしくお願い致します。

富居利貞君 ご無沙汰しております。

青柳 紀君 田邊さん台湾ではお世話になりました。あなたは台湾ではでかいネ!

吉田隆男君 先週から今週にかけて海外旅行に行ってきました。し

ばらく自宅謹慎しようかと思いましたが、出席率が気になり出てきました。

江森国一君 本日18時より「はせ茂」に於いて、第3テーブルミーティングを開催致しますので、出席予定の方よろしくお願い致します。

山本 登君 青柳さん、月山さん、河野さん先日はお世話になりました。

月山 勇君 青柳さん、先日はお世話様でした。ツアーデビューは後日にしましょう。

加藤仁昭君 6月5日(金)第5テーブルミーティングを三ツ沢下町の藪で行います。第5以外の方も大歓迎ですので都合の良い方は事務局へご連絡下さい。

横溝 亘君 岩田様本日の卓話楽しみにしておりました。よろしくお願い致します。

長井 章君 5月24日春の家族会にご出席の皆様、よろしくお願い致します。

5月15日	14件	44,000円
本年度累計額		2,039,212円

卓話

「西洋文化の発信地、横浜開港当時の面影今昔」

えんせんシニアネット会長 岩田 忠利 様
(紹介者 茂木 知子 会員)



プロフィール

生年月日 昭和13年11月

最終学歴 立教大学経済学部卒業

職歴

- ・トヨタ自販直営「トヨタ東京カローラ」
- ・県商工指導センター所属 経営診断員
- ・産経新聞記者として連載担当
- ・沿線雑誌『とうよこ沿線』編集発行人として21年間、20世紀を残す写真集『わが町の昔と今』シリーズの編集発行人として5年間

・現在は東急沿線在住のシニア・主婦対象のボランティア・グループ「えんせんシニアネット」会長。平成20年11月、総務省広報パンフレットに社会参加活動のモデル事例10例の1例として紹介される

出身地 群馬県前橋市

現住所 横浜市港北区日吉

趣味 (スポーツ) 趣味というよりも余暇活用は、一にインターネットでの情報交換、二に酒を飲みながらの雑談

ひとこと 受賞歴

1. 昭和60年11月22日、「第1回 NTT タウン誌大賞」受賞 (全国408誌参加)
表彰事由...タウン誌発行を通じ地域コミュニケーションの振興および地域文化の発展に多大な貢献
2. 平成2年6月22日、「平成2年度サントリー地域文化賞」受賞
表彰事由...タウン誌出版を核としたコミュニティ活動の優れた業績

1859年 (安政6年) 横浜港の開港！ 横浜が世界への大きな窓口となりました。とたんに西洋文化がドッと横浜に流れ込んできました。

例えばキャベツ、トマト、タマネギ、イチゴなどの西洋野菜。牛乳、パン、すき焼き、アイスクリーム、ビール、レストランなどおなじみの食材や店です。埋立地の多い横浜は水質が非常に悪く、伝染病が頻発、県はイギリス人技術者に委託して津久井郡道志川から水を引いてわが国最初の近代水道を実現して横浜の家々に給水を始め、安心して美味しい水が飲めるようになったのです。

ほかには私たちの日常生活に欠かせない病院、ホテル、クリーニング、理容院、石鹸、マッチ、公衆便所、洋風建築、ゴム印などがそれら。さらに交通面では新橋～横浜間を初めて列車が走った鉄道のほか、乗合馬車、貸自転車、近代式道路、鉄橋など。

今日の情報化社会の先駆けとなったツートントンの電信機は横浜～東京・築地間に電信柱が建って開通し、横浜郵便局は日本人にも外国郵便を受け取れる最初の取扱局に。写真は横浜で下岡蓮杖、長崎で上野彦馬が日本最初のプロ写真家として活躍。

スポーツや音楽、出版や新制度、慣習など枚挙に暇がないほど外国文化が渡来しました。

こうした数々の文化はまず横浜で盛んになり、花開いて日本全国に広がっていきました。しかしその陰に新しい文化を導入するには並々ならぬ努力が隠れています。

熱海出身の菊林林蔵は数々の事業に挑戦しましたが、どれも失敗。無一文になり途方にくれる中、思いついたのがフランス人技師への債権。そこで返金を迫ったところ、マッチの販売権を借金のカタにもらいました。林蔵はマッチの売り込みに大いに精を出しましたが、「マッチは人の骨で作る」などと変な噂が流れ、またもやツブれそうになりました。窮地に立った林蔵は寝食忘れて営業し、現南区万

世町に製造所を建て、囚人300人を使って日本で最初のマッチ製造業を始め、見事に成功させました。

横浜経由の数々の文化が今、日本人の日常生活でごく当たり前の文化として根を下ろしています。開港当時の横浜の面影のある横浜港大栈橋、初代横浜駅、横浜村と大岡川、日本大通り、旧根岸競馬場跡、キリンビール、野毛山などの写真でたどり、横浜の意気軒昂な大先輩の業績をしのびながら開港150周年を祝いたいと思います。

ロータリーミニ情報

未来の夢試験段階への申請を地区が開始

ロータリー財団では、これまでに、58地区から未来の夢試験段階 (パイロット) への申請書を受理しました。5月15日の締め切りまでに、合計175～200の申請書が提出されると見込まれています。2010年7月1日に開始予定の未来の夢試験段階では、新しい補助金構成を3年間にわたって試行します。各地区は、5月15日まで、この試験段階の参加にオンラインで申請できます。

補助金の手続きを簡素化するため、夢計画では、新地区補助金とグローバル補助金の2種類のみとなります。現在の地区補助金をモデルとする新地区補助金は、一括して地区に支給されるもので、地区財団活動資金の50%までを幅広い活動に使用することができます。グローバル補助金は、6つの重点分野のうちの一つにおいて、多大な影響をもたらす持続可能な大規模の国際的プロジェクトを支援するものです。

参加地区には、新構成の改善に向けて意見を述べる機会が与えられるほか、財団から特別な支援が提供されます。試験地区は3年間、終始、試験段階に参加するだけの心構えが必要となります。試験期間中に変更が加わることも考えられるため、試験地区は辛抱強く、柔軟な態度で臨まなくてはならない、と未来の夢委員であるマーク・マローニー元国際ロータリー (RI) 理事は述べます。

未来の夢試験段階について関連情報は、RI ホームページ (日本語)

<http://www.rotary.org/ja/Pages/ridefault.aspx> からご覧いただけます。

財務状況に関する最新報告 (抜粋)

世界的な不況に伴い、2月28日現在、国際ロータリー (RI) では約2,600万米ドル、ロータリー財団では約2億2,200万ドルの含み損 (未実現損失) が生じていますが、幸いにも健全なキャッシュフローを維持しており、運営費に充てるために投資株を売る必要は生じておりません。会費やそのほかの活動からの収入は前年度より増え、財団へのロータリアンからの寄付も昨年度と比べ600万ドル増えています。

また、財団の投資価値の大きな下落により、財団の運営予備金が減少したことを受け、管理委員会は1月の会合で、今会計年度の国際財団活動資金 (WF) のプログラム使用予算を1,630万ドル削減す

る決定をしました。既に実施が予定されているプログラムに資金を提供すると共に、このような状況下で財団の長期目標を達成していくため、今後、管理委員会は、2009 - 10会計年度以降に向けた措置についてさらに検討していく予定です。

エド・フタ (布田) RI 事務総長

RI ホームページで財務情報をご覧ください

財務諸表、年次報告書、政府への手続文書を始めとする RI とロータリー財団の財務情報のほか、よく尋ねられる質問などが掲載されています。これらのリソースは、以下の方法でご覧下さい。

www.rotary.org から「組織概要」のタブ、続いて「財務」をクリックして下さい。

ロータリアンが自転車でオーストラリアを一周

オーストラリアのロータリアンが、同国の歴史上、最長距離にわたる集団サイクリングに挑戦します。7 ヶ月間、1 万 8,000 キロメートルにもおよぶこの旅は、ロータリーと Australian Rotary Health (オーストラリアン・ロータリー・ヘルス)、ならびに精神疾患の研究の必要性への認識向上を目指しています。

Australian Rotary Health (オーストラリアン・ロータリー・ヘルス) が主催する「Great Australian Bike Ride」は、国際ロータリー理事会によって承認されている多地区合同プロジェクトで、医学や精神衛生の研究プロジェクトのための資金集めと補助金の提供を目的としています。

3 月 21 日に自転車でメルボルンを出発した一行は、ボートで第一地点であるタスマニアのホバートに渡り、島を一周してから本土に戻りました。これから 7 ヶ月間、一行は、反時計回りにオーストラリア大陸を一周し、10 月 10 日にメルボルンで旅を終える予定となっています。

多くのロータリアンも含め 100 人以上にのぼる参加者は、このコースの 9 区分のうち、1 区分もしくは複数の区分を自転車で走ります。このうち 5 人は、全行程を完走することを目標としています。ロータリアンは、コースの調査、宿泊手配のボランティア、食事の提供、募金行事の主催など、このイベントの企画を手伝いました。全文は RI ホームページ (日本語)

http://www.rotary.org/ja/MediaAndNews/News/Pages/090409_news_aussieride.aspx からご覧いただけます。

環境問題に力を注ぐ新クラブ

アメリカのミネソタ州とウィスコンシン州にまたがって新しく結成されたダールススベリアーエコロータリークラブ (R.C) は、環境問題に力を注ぐ一方、若い会員をターゲットに活動しています。

昨年 11 月に誕生したこのクラブは、毎週火曜日の夕方、市内で人気のレストランで例会を開いています。例会費は 1 回 5 ドル、ドリンクとスナックという軽食で済ませるなど、場所、時間、費用のいずれも若い専門職業人にとって魅力的なものとなっています。30 人

いる会員の大半は若年層の専門職業人で、75% が若い女性。20 代の会員も所属し、幹事のケイ・ピガさんは「40 代の私は、一番年上のグループに入りますよ」と話します。

例会は短めにしようとしたのですが、「みんな、ワインやビールを注文して遅くなり、例会場も商売繁盛」とピガさん。クラブは月に 1 回、ロータリーを知ってもらうため「外回り」をして、例会の代わりに、商工会議所の月例懇親会に加わります。

環境をテーマに掲げ、クラブ名にも、奉仕プロジェクトにも、それを明確に打ち出し、毎月、環境や地域のためのプロジェクトに参加してきました。同じく環境に関心の高いロシアのバイカルエコ R.C との国際プロジェクトも計画しています。

イタリア大地震の被災者に迅速な支援の手

4 月 6 日、イタリア中部で大地震が発生、300 人近い犠牲者が出ました。そのわずか数時間後、シェルターボックスのボランティアチームが、家を失った数百世帯に、245 個の救援物資セットを届けました。

この大地震により、数万人がホームレスとなり、山間地帯にある町、ラクイラで、少なくとも 1 万 5,000 棟の建物が全半壊の被害を受けました。

地震被害による混乱の中、シェルターボックスの救援チームと地元のロータリアン、そしてイタリアの市民保護団体が一体となって、アッセルジ村の近くに 5 つのテント村キャンプを設置しました。

世界中のロータリークラブが支援している草の根の災害救援団体、シェルターボックスでは、テント、毛布、浄水装置、調理機器、そのほか生活するのに必要な基本的な道具や物資の詰まった箱を提供しています。この箱で、10 人家族が 6 ヶ月間生活することができます。

最も被害が大きかったのは、アルバニアとイタリアの一部を含む第 2090 地区です。同地区は、被災地への中期的・長期的な救済プロジェクトについて話し合うため、今後 2 週間以内にイタリアのほかの 9 地区と会合を設ける予定です。

また、最も被害が大きかった地域社会にエンジニアと建築家を派遣し、専門技術を提供する予定です。長期的には、地元ビジネスの再建を支援する計画を立案中です。

災害援助を支援する方法はこちらをご覧ください。

<http://www.rotary.org/ja/serviceandfellowship/DisasterRelief/howtohelp/Pages/ridefault.aspx>

次回《5月29日》の卓話予定

「イニシエーションスピーチ」

中山 久招 会員